

SIAA FORUM

～見えない菌に、見える安心～

2026.2.19 thu/2.20 fri

2026年2月19日・20日 SIAAフォーラムが開催されました。

好評だった「SIAA会員が一堂に集う場」をリニューアル。

著名ゲストを招いての講演や有志会員によるパビリオン出展、

ディナーパーティー等、充実のプログラムが用意され

会場には大勢の会員様が詰め掛け大盛り上がりの二日間となりました。



2026年2月19日(木)および20日(金)の2日間にわたり「SIAAフォーラム」を開催しました。本フォーラムは、2025年9月9日(SIAA抗菌の日)に開催された大規模イベント「SIAA会員が集う場」を発展的に継承したもので、前回は大きく上回る延べ300名以上の会員が参加しました。本フォーラムのテーマは「見えない菌に、見える安心」。抗菌・抗ウイルスをはじめとする衛生分野に関する課題やSIAAの取り組みを共有するとともに、会員相互の交流促進を目的に実施されました。

■第1部(2月19日)／ベルサール汐留

第1部は東京都中央区のベルサール汐留(B1大ホール)にて開催され、医師でありテレビでも活躍するおたわ史絵氏による講演「現代人のこころと体のカルテ」を実施。腸内環境の重要性や免疫力強化の実践的なアドバイスなどについて楽しくご紹介いただきました。また、株式会社タニタ様による講演「タニタ食堂のご紹介と抗菌製品の活用」が行われ、実践的な取り組み事例が紹介されました。



一方、展示パビリオンでは会員企業37社によるパネル展示が行われ、各社が工夫を凝らした製品や技術を披露。来場者との活発なコミュニケーションが展開されました。

その後の懇親会(立食ディナー)では、大阪・関西万博にも参加したチームによる迫力ある「よさこい」演舞が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

当日は、剤メーカー各社や消費者団体の代表者なども多数参加し、業種を超えた交流や情報交換が活発に行われました。課題解決や新たな気づきの創出につながる、意義ある場となりました。



総合内科専門医、法務省矯正局医師
 講師 **おおたわ史絵氏**
 演題 「現代人のこころと体のカルテ」


株式会社タニタ様による 抗菌取り組み事例の紹介

株式会社タニタ
佐川 清志 様

各種計測器メーカーとして知られるタニタ。2012年からは「タニタ食堂」を展開。タニタ社員食堂のコンセプトを再現したヘルシーなメニューを日替わりで提供し健康志向ブームの先駆けとなりました。キッチンタイマー等、キッチン・ヘルスケア関連の抗菌製品を多数販売。



SIAA
FORUM
Day 1



フォーラム開催に合わせ、会場の最寄り駅である新橋駅南口・駅デジタルサイネージでSIAAの広告・動画が流されました。

SIAAの活動は現在1000社以上の会員企業様に支えられていますが、各会員が顔を合わせ直接交流できる機会はなかなかありません。本フォーラムが抗菌等衛生分野における価値創出と一般消費者に向けた安心の提供といったSIAA活動への相互理解を深め、合わせて親睦の機会となれば幸いです。ご参加の皆様にご挨拶申し上げます。



講演会に先立ち田田会長より「本フォーラムが会員企業様の満足度向上、消費者様への認知度向上、信頼性向上に寄与する大きな契機となることを確信しています」との挨拶がありました。

■第2部(2月20日) / TKP新橋汐留カンファレンスホールおよびオンライン

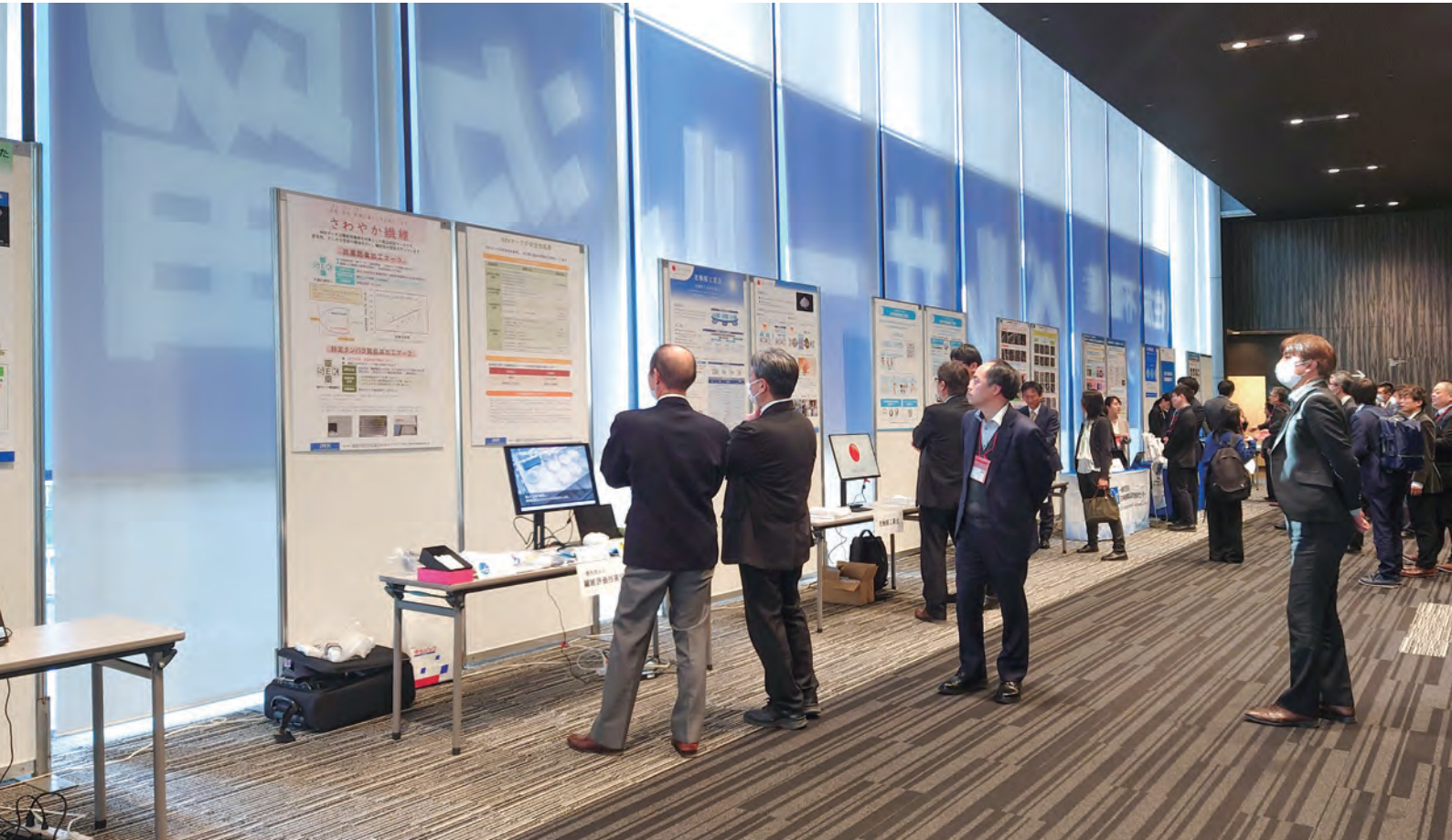
第2部はTKP新橋汐留カンファレンスホールにて開催され、SIAAの各委員会による活動報告が行われました。

国際展開委員会、SIAA広報委員会、抗アレル委員会、印刷準備委員会、制度運営委員会、防カビ委員会の計6委員会の委員長が登壇し、それぞれ直近の取り組みや今後の方針について共有しました。

SIAA
FORUM
Day 1

写真で振り返る SIAAフォーラム

多彩なプログラムを用意して始まったフォーラム
1日目。当日の会場の賑わいぶりを写真で
振り返ります。



パビリオン展示

大ホールのある地下1階、懇親会場となった2階のロビーを広告パビリオンとし、SIAA会員企業・団体37社がパネル
や製品を展示しました。各ブースの前では会員様同士の交流も積極的に行われ、各社取り組みへの関心の高さが
うかがわれました。





懇親会

17時からは懇親会（ディナーパーティー）が開催されました。冒頭、来賓としてお招きした消費者団体の皆様が挨拶。その後は華やかな雰囲気の中、さまざまな業種・業界の会員様が名刺を交換しながら懇談される風景が随所でみられました。



よさこい演舞

この日会場を最も盛り上げたのはSIAA事務局スタッフが所属するよさこいチームの演舞。息のあったパフォーマンスは圧巻でした。

【チームプロフィール】

チーム名：國士舞双 よさこいの本場・高知と関東を拠点に活動するチームです。2007年の結成以来、伝統と革新の融合、「この國に二つとなき者」という理念を掲げ今年20周年を迎えます。高知よさこい祭りでは毎年入賞を果たし、全国各地への遠征も積極的に行っています。

SIAAフォーラム 委員会活動報告

2026年2月20日(金) TKP新橋汐留カンファレンスセンター

SIAA
FORUM
Day 2

国際展開委員会

エリア別ワーキンググループ活動の 推進と今後の方向性

加藤 貴夫 委員長
(株式会社シナネンゼオミック)



これまでSIAAは、中国・韓国を中核パートナーとして海外展開を進め、認証システムの普及を段階的に拡大する戦略を採ってきました。しかし2025年までに外部環境は大きく変化しており、この方針の継続が困難となっています。

SIAAをめぐる世界環境変化

- 中国では海外NGO管理法の影響により活動規制が強まり、従来のプロモーションにリスクが伴うようになった。
- 韓国でもK-BPR規制強化によって市場参入障壁が高まり、さらにパートナー団体との連携停滞により情報収集やロビー活動が機能しにくい状況にある。

2025年における主な議論と活動

こうした背景から、国際展開委員会は2025年の1年間を通じて、委員会の存在意義を検証、さらに今後の戦略についても再設計を行いました。また具体的な取り組みとして、エリア別ワーキンググループを設置。ターゲットを中国・韓国・台湾・東南アジアの4地域に分け、個別の状況に応じた議論と施策検討を開始しました。

- ✦ 従来活動は「足を止めない」
既存会員へのサポートや定例的な委員会活動は、停滞させることなく着実に継続。
- ✦ 同時に「国際展開委員会の存在意義」を再定義
環境変化を踏まえ、SIAAが国際的に果たすべき役割や、会員企業への提供価値を根本から見直し。
- ✦ 継続と再設計を並行した一年
活動を維持しながら将来の戦略を練り直す、実行と計画の再輪を回すフェーズ。
- ✦ エリア別Working Group活動の開始
全体MTGとは別に中国・韓国・台湾・東南アジアの4つのWorking Groupに分けて活発な意見交換を実施。

WG活動：台湾

台湾は最も順調に進展しており、現地団体との連携による勉強会や展示会を通じて会員企業数が増加、2025年10月時点で新規入会も実現している。今後はTaipeiPLASをはじめ展示会出展などを通じて会員獲得の加速を目指す。

WG活動：ベトナム

東南アジア圏でのターゲットとしてはベトナムとタイの2カ国を検討、最終的にベトナムに絞り込んで賛同団体を発掘してゆく計画。2025年までに現地での市場調査や規制確認を行い複数団体との接点を得た。ただし、その後については現地窓口不在によりフォローが停滞しており、導入メリットの明確化などが課題となっている。

WG活動：中国

中国では新規勧誘を停止する一方、既存会員が多いことからその権利保護と支援に注力し、製品販売継続のための情報発信を重視する方針（SIAAマーク製品の販売は問題なし）。また既存会員の権利保護と支援にリソースを集中する。

WG活動：韓国

韓国については規制動向を見極めつつ、SIAAの理念に共感し実務的な連携が可能なパートナーの発掘を模索している。

存続をめぐる議論と2026年からの方向性

委員会では中韓での活動停滞を踏まえ、今後の委員会活動について「国内集中（委員会解散も検討）」「慎重拡大」「積極展開」の3案を検討し議論を行いました。その中で、欧米を中心に抗菌概念そのものを見直す動きがあり、このままではISO22196に拠って立つ「抗菌」が国際的に孤立するリスクが指摘されました。こうした状況に対応するためには、東南アジアを中心に価値観を共有する団体とのネットワーク拡大が不可欠と判断され、最終的に「積極展開」を維持し委員会を存続する方針が決定されました。今後は、「アジアでの仲間づくり」、「国際対話の担い手」、「既存会員への還元」などを主軸として活動していくことになります。

KEY MESSAGE

国際展開委員会は存続

- アジアでの仲間づくり
SIAAの理念に共感する国や団体を埋め、実務的な協力関係構築を目指す
- 国際対話の担い手
SIAAの海外窓口として国際的な議論の場において、日本の窓口として機能することを目指す
- 既存会員への還元
提供された情報やネットワークを会員企業へフィードバックし、ビジネスを支援することを検討する



SIAA抗アレル委員会

評価方法の確立と 認証制度開始に向けて

江口 英範 委員長
(住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社)



これまでの活動と2025年度ミッション

当委員会は抗アレル加工製品の効果・安全性に対する新たな評価方法の確立（フィルム密着法の試験条件最適化）および認証制度確立を目指して活動してまいりました。評価方法の確立については、技術分科会で試験条件の統一検討、これによって回収率や低減化率の安定した測定を目指す活動を続けてきました。

ミッション(主管業務等)	1. 評価方法の確立 2. 認証制度の検討
活動項目	達成するレベルと達成時期
1. 評価方法の確立	昨年度同様技術分科会にて具体的な検証を実施する。 技術分科会での検証内容は下記の2項目を優先的に検証する。 ・ELISAへの影響を確認する試験条件の検証 ・Cry j 1以外の対象抗原の検証
2. 認証制度の検討	先行している繊維評価技術協議会のマーク認証制度を基にSIAAに合ったマーク認証制度を具体的に協議する。 主な項目 ・名称・候補名称の検証 ・用語の定義・定義が必要な用語のリスタアップ ・評価基準・性能基準 ・対象抗原・候補のリスタアップ ・承認方法を考慮した、マーク近傍に記載する注意書き、および製品訴求時の表記

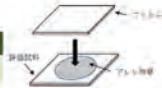
2025年度 抗アレル委員会ミッション (活動計画)

評価方法の確立

✓ 試験方法(フィルム密着法)の確立

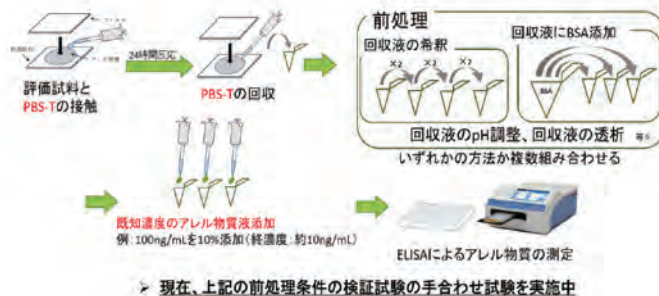
● 確定した試験条件

項目	詳細	備考
初期濃度	15±5ng/mL	
接種時間	24時間	
接種量	0.4mL	
接種温湿度	25±1°C, 90%RH以上	
回収方法	そのまま液を回収	洗い出し液はなし
評価対象(アレル物質)	Cry j 1, Der f 1, Der f 2	その他も検討予定
ELISAキット	指定なし	
PEフィルム	ユニパック™(セイニチ製)	



● 課題：ELISAに影響を及ぼす場合の対策方法(確認方法)

上表は2025年までに決定した試験条件です。回収方法について抗菌・抗ウイルスと異なるのは洗い出し液を使用しない点で、回収量が少なくなることから測定がやや難しくなる点が課題になっています。また測定に用いるELISAキットについては条件によって影響を受けやすい特性があり、技術分科会ではこれに対する対策(回収されたアレル物質に対して測定以前に一定の前処理を施す)の検討と試験、検証を行っています。



➤ 現在、上記の前処理条件の検証試験の手合わせ試験を実施中

認証制度の検討

● 認証制度の名称

これまで便宜上使用してきた「抗アレル」については薬機法に抵触する(アレルギーを連想させる)ことから別名称が検討されてきましたが、今回『特定タンパク質低減加工』と決定しました。一般社団法人繊維評価技術協議会では各省庁と折衝の上2025年より同名称にてマーク認証制度を開始しており、SIAAもこれに倣うことで市場への認知を進めていきます。

● 対象となるアレル物質

認証の対象となるアレル物質についてはダニ由来(Der f 1, Der f 2)とスギ花粉由来(Cry j 1)の3種類となります。

● 種々の基準

- 性能基準：未加工品を基準として70%以上であること
- 前処理条件を検証する試験の合格基準：手合わせ試験結果を基に設定予定
- 各試験の成立条件：手合わせ試験結果を基に設定予定

今後の予定

今後は、前処理条件の検証試験を含めフィルム密着法を確立、さらに認証制度内容を決定し、2026年度中に詳細決定、2027年度中の認証制度開始を目指しています。

印刷準備委員会

紙印刷物の抗菌試験法確立
～新たな認証制度運用にむけて～藤井 公一 委員長
(東洋インキ株式会社)

2024年度に発足した本委員会。現在は「全ての紙印刷物の登録製品における品質を確認し、品質向上できる体制を作り、消費者の安心と安全という要望に応える」をスローガンに主に以下のような活動を進めています。

紙印刷物の抗菌試験方法の確立

現状、紙の印刷物における有効な抗菌試験方法は確立されておらずSIAAの定期的性能チェック制度についても対象外とされています。しかし今後は紙印刷物の安全・品質への信頼性を確かなものにするためにも、紙での試験方法を確立する必要があります。本委員会では、試験機関と連携しながら、JIS Z 2801 (フィルム密着法) に代わる試験方法の検討と確立を目指し、2027年度以降定期的性能チェックを実施できるよう計画を進めています。

印刷カテゴリーの中期計画策定

印刷分野には、多様な印刷形式や印刷物が存在します。本委員会では品質管理を中心にそれぞれの形式・印刷物ごとに課題の整理・検討を進めています。

紙印刷物の認証制度の確立

紙印刷物の抗菌試験方法確立とともに、認証制度のアウトラインを検討。新たな紙印刷物の認証制度確立を目指します。

※コート紙以外での検証を進め、2026年度中には試験方法を確立させる計画

印刷準備委員会の活動状況

課題

紙には多くの種類が存在し、表面状態や吸収性はそれぞれ異なる。さらに、印刷方式も多様である。

このように様々な加工条件にて塗工された表面の抗菌試験条件の確立が大きなテーマ

現状

紙上の抗菌試験方法確立に向け試験機関と検証中。新しい試験手法にて、コート紙では無機抗菌剤、有機抗菌剤とも大腸菌、黄色ブドウ球菌にて良好な抗菌活性を得た。

試験中の用紙

用紙の名称	用紙の種類	ご提供
サンカード+	カード紙	アート印刷株
画島上質	上質紙	文房閣株
ユークライト	マット紙	文房閣株
OKトップコート+	コート紙	セントラプリントクス株
OFK17.0 (170g/m2)	Kライナー	王子コンデー株

今後

コート紙以外での検証を進め、2026年度中には試験方法を確立させたい

SIAA広報委員会

一般消費者、会員企業に向けた
情報発信と委員会サポート石田 昌也 委員長
(富士ケミカル株式会社)

本年度、当委員会では会員企業の満足度向上を目指し、以下のような活動を行ってまいりました。

一般消費者への広報

一般消費者に対してSIAAマークの認知・理解促進をはかるため、キャッチコピー作成および積極的な広告・SNS発信に努めてきました。

■キャッチコピー「見えない菌に、見える安心」

キャッチコピーは「広報活動の旗印」であり、会員と消費者をつなぐ共通言語です。作成にあたってはSIAAマークの意味と価値を誰でも理解できるよう「一言」に凝縮。広告・SNS・イベント等を通じて繰り返し発信することで消費者への浸透を図ります。

■主な広告・SNS展開

2025年8月より化学工業日報に広告を定期掲載(月2回×9カ月)。またSIAAフォーラム開催に合わせて2026年2月2日から3月1日まで、JR新橋駅南口にて駅広告(デジタルサイネージ70インチ×7面)を展開。他に、主婦連会報誌にも広告出稿(主婦層向け)。また、特に注力したのがSNS(YouTube、X、Instagram)の公式チャンネル開設。衛生ヒーローが登場し、一般消費者に向

けて抗菌・防カビ・抗ウイルスに関する正しい知識の発信、SIAA認証制度の紹介など幅広い情報を発信していきます。



会員向け情報発信と委員会活動サポート

この他、会員向け広報としては、メルマガ、ホームページにて最新情報を発信。委員会サポートとしては、各委員会の活動取材し会報誌で紹介していきます。またSIAAフォーラムでは特別講演や会員企業による広告パビリオン(パネル・製品出展)を実施。懇親会も含め会員間の相互交流の場として成果をあげました。

制度運営委員会

SIAA品質を支える 活動の現況と課題



杉山 紀幸 委員長
(株式会社LIXIL)

本委員会はSIAA品質を支えるための仕組みづくり、基準づくり、教育研修の企画や運営などを行っています。ここでは定期的性能チェック制度、管理責任者講習会、技術講習会について現況・課題を簡単にまとめました。

定期的性能チェック制度 振り返りと次年度準備

5年周期で実施している当制度は2025年度でひとつの区切りを迎えました。5年間の実績を下表にまとめました(合格率は初回合格率)。成果と同時に課題もあがっています。例えば海外製品の扱いが不明確な点、印刷物の試験法が確立されておらず未調査になっている点。また景表法や薬機法を踏まえた広告表記についての確認なども今後の検討事項です。2026年度には新たな定期的性能チェックが始まりますが、そこでは抗菌以外の全製品が対象になります。また、これまで国内会員のみを対象としていましたが今後は海外会員にも広がっていきます。すでに中国会員向けの説明会を実施。2026年度には台湾会員向けの説明会(管理責任者講習会)を計画しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
サンプル数	71	128	132	180	156
合格数	64	108	110	147	140
不適合数	7	20	22	33	24
合格率	90.1%	84.4%	83.3%	81.7%	84.4%

管理責任者講習会の受講率向上に向けて

管理責任者講習会については受講率向上が課題となっています(2025年は431人が参加)。2025年度は当日の会場参加・ウェビナー視聴の他、録画配信を取り入れ全正会員が視聴できるよう環境を整備し、さらにアンケート集計により受講確認ができるようにしています。

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
開催方式	東京	東京	東京	東京 大阪	東京 大阪 WEB	東京 大阪 WEB	東京 大阪 WEB	東京 WEB	東京 WEB 録画配信
受講者数	56	69	86	214	666	401	472	318	431
会員数	268	288	337	781	1144	1210	1169	1067	1064

管理責任者講習会・フォローアップ研修会の受講者数推移

技術講習会

2025年9月9日にSIAA技術講習会をトライアル実施しました。第1回目のテーマは「今さら聞けない微生物試験の知識」で、各試験場の専門家を講師に招き、試験の流れやマーク認証との関係等について非常にわかりやすい解説をしていただきました。577名の会員様がウェビナー視聴され、内容についてもたいへんご好評をいただきました。会員満足度向上の観点からも今後さらに改善しながら継続してゆく計画です。

防カビ委員会

防カビ認証基準の最適化・ 展開を通じて登録増を目指す



中村 勤 委員長
(積水化学工業株式会社)

本委員会の活動のひとつに「Next防カビSIAA」があります。これは防カビSIAAマーク登録を増やすための3カ年計画で、2025年度はその3rd STEP=対策実施フェーズに当たります。主なテーマは「基盤強化(防カビ認証基準の基準最適化)」と「展開(防カビ認証基準のランクアップ)」の2点です。

	全体把握	掘り下げ	3rd STEP(25)
国内	・防カビ登録数が伸びない理由の根本把握 ・短期、中期、長期課題にカテゴライズ ・短期対策完了	・防カビ登録数が伸びない理由の掘り下げ ・中期、長期にカテゴライズされる『防カビ試験法の精査』を分科会で協議	SIAAマークの価値向上 ①基盤強化 認証基準の最適化 (方法、各地域特性)
海外	・海外向け製品及び海外メーカーを登録ができるように規定を改訂 ・海外防カビ製品の情報収集開始	・海外メーカー防カビ登録サポート ・JISZ2911で指定されているカビ種との関連確認	②展開 認証基準のランクアップ 現行基準に強化基準を新設

① 基盤強化 ～認証基準の最適化

防カビ試験の技術的課題となっていた「試験結果のバラつき」に対して、カビ懸濁液の接種方法(噴霧量・噴霧条件)を確立することで認証基準の最適化およびバラつきの低減化を図りました。従来は試験機関ごとの手法に一任していた手続きを2025年度までに統一して規定。今後はJIS改正を目指して活動していきます。

【カビ懸濁液の接種方法確立】

- (1)懸濁液噴霧量と実無条件の最適化
試料は、壁と樹脂板
- (2) (1)で最適化された条件で手合わせ試験
- (3)SIAA試験方法として噴霧条件を規定
- (4)JIS改正(目標)



懸濁液噴霧の条件を一定にするために治具を試作。4試験機関に配布している。

② 展開 ～認証基準のランクアップ

従来「SIAAマークはもとより防カビ加工とうたってカビが生えようとクレームにつながる」という声があり、これが防カビマーク登録数の増えない理由のひとつ(クレームリスク)になっています。実際にカビの種類・生育条件は製品ジャンルやロケーション(屋内・屋外)、地域によってさまざま、SIAAが規定した試験菌株での試験・認証で全方位の防カビに対応することはできません。今後は防カビ認証マークの価値を高めるためにもこれら環境存在カビの取り扱いについて協議を開始します。

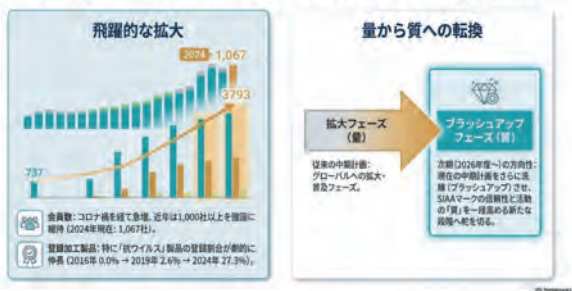
SIAA新中期計画(2026～2028年度)のポイントと2026年度委員会活動計画との関連について

2026年度はSIAAにとって新中期3カ年計画のスタートの年となります。新たに策定された事業・活動計画については、来る6月18日に開催されるSIAA定時総会またはSIAAホームページ等で公開されますが、ここでは新中期計画のポイントと2026年度委員会活動計画との関連について簡単にまとめ紹介してまいります。

●新中期計画の背景とポイント

SIAA会員はコロナ禍を契機として急拡大し、現在も1000社超の会員数を安定的に維持しています。これはコロナ以降の「拡大フェーズ」が一段落したものとみることができ、今後は数的拡大を求めるフェーズからより質的向上を目指すフェーズへの転換が求められています。SIAA中期計画戦略委員会では、新たなフェーズを「ブラッシュアップフェーズ」と捉え、従来の中期計画をさらに洗練させ、SIAAマークの信頼性と活動の「質」を一段高める新たな段階へと舵を切るべく方向性を決めました。

SIAAの現在地：コロナ禍での急拡大を経て、次なる「質の追求」フェーズへ

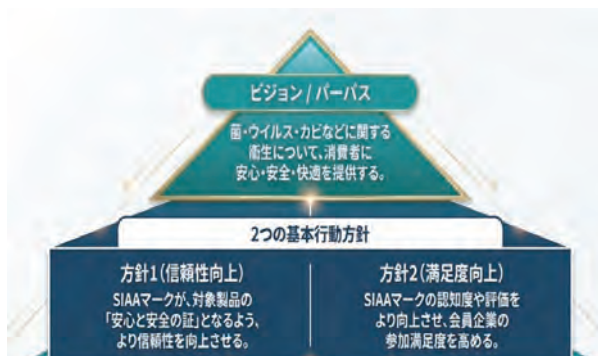


主なポイントは以下の通りです。

■基本行動方針の集約（従来の3つの方針を、以下の2つに集約しました）

- 1 SIAAマークの信頼性向上：消費者にとって安心・安全の証となるよう、信頼性をさらに高めます。
- 2 認知度・評価の向上と会員満足度の向上：ターゲット層への認知度を高め、会員企業が参加メリットを実感できる体制を作ります。

■グローバル戦略の再定義：一方的な拡大フェーズから、中国の状況等も踏まえた「必要とされる国・地域」との連携へと舵を切ります。



●7つの重点課題と委員会活動との関連

- 課題1 品質管理意識の向上**
管理責任者の重要性理解、定期的性能チェック制度の拡大
- 課題2 自主登録制度のルール順守**
抜き取り検査に代わる活動（広告表記チェック等）の検討、制度の運営状況を監視・管理
- 課題3 印刷カテゴリーの信頼性向上**
印刷物の試験方法および認証制度の構築
- 課題4 コンプライアンス遵守**
広告表記ガイドラインの周知、化学物質管理情報の提供、遵守を促すための情報提供活動
- 課題5 ターゲット層に対する認知度・評価の向上**
一般消費者およびビジネス顧客へのSIAAマークの理解促進
- 課題6 参加企業の満足度向上**
入会メリット（専門情報、交流、広報支援）の提供
- 課題7 国際展開活動の今後の方向付け**
アジア等での連携拡大、対象国の明確化と戦略整理。

	課題①	課題②	課題③	課題④	課題⑤	課題⑥	課題⑦
制度運営	✓	✓		✓			
技術	✓	✓	✓				✓
広報					✓	✓	
国際展開			✓				✓
国際標準化	✓	✓					✓
防カビ	✓	✓		✓			
抗ウイルス	✓	✓	✓	✓			
安全性	✓	✓		✓			
バイオフィルム		✓	✓	✓			
抗アレレル		✓	✓	✓			
印刷準備			✓		✓		

●その他の委員会活動について

上記重点課題に直接紐づく活動以外にも、以下の重要な専門活動が計画されています。

- **技術・評価試験の開発：**
防カビ、抗ウイルス、バイオフィルム、抗アレレルゲンの各委員会が、それぞれの機能における新規試験法の開発や規格化、登録推進を担っています。
- **国際標準化：**
国際標準化委員会がISO/TC61（プラスチック）やTC330（抗微生物製品の表面試験法）などの国際会議に対応し、日本主導の規格提案を継続しています。

これらの各委員会の専門的な活動が効果的に進むよう、全委員長との関係の場として「委員長ミーティング」を通じて総括し中期計画の目標達成が図られる仕組みとしていきます。

委員長ミーティングの新設
目的： 重点政策の協同推進、共通テーマの連携、各委員会の課題共有。
効果： 委員会活動の重複を排除し、役割を整理。SIAA領域を超えた提言を可能にし、SIAA全体の活動を高度化する。

6/18 木

2026年度 SIAA定時総会

2025年度事業報告・収支決算および2026年度事業計画案・予算案などの各議案についての発表を行い会員様にご審議をいただきます。

9/9 水

SIAA 抗菌の日

SIAA技術講習会(オンライン・自由参加)

専門技術者のみならず、SIAAのすべての会員を対象とした試験技術に関するトライアル講習会です。2025年の同講習会では「今さら聞けない微生物試験の知識」をテーマに、各試験事業者が微生物と試験技術、マークの認証基準等についてわかりやすく解説していただき、500名以上の会員様にご視聴いただくなど大好評を博しました。今年度テーマ等については決定次第、お知らせします。

9/15 火 ~9/19 土

TaipeiPLAS 2026

台湾最大のプラスチック・ゴム産業の国際見本市「TaipeiPLAS」(隔年開催)に、今回もSIAAが出展します。アジアを中心にグローバル展開を進めるSIAAにとって台湾は重要なターゲットでもあります。約500社もの出展社が環境にもやさしい最先端の製品、技術、素材を紹介する中、SIAA認証マークの意義や信頼性、抗菌・抗ウイルス・防カビ・抗バイオフィルム加工製品の紹介など積極的に発信していきます。

9/17 木

台湾企業向け管理責任者講習会

SIAA認証登録する台湾企業が順調に増加する一方、2026年度からは定期的性能チェック制度の対象に海外会員が加えられることになりました。こうしたことからSIAAでは新たに「台湾企業向け管理責任者講習会」を開催。SIAAの活動状況、品質管理の重要性、定期的性能チェック制度の流れなどについて紹介してまいります。

11月

管理責任者講習会／フォローアップ研修会

SIAA会員各社の管理責任者を対象とした定期講習会。抗菌・抗ウイルス・防カビ・抗バイオフィルム等各分野について、管理責任者が知っておくべきSIAAの自主基準やSIAAマークの説明、SIAAの最新情報を紹介。またフォローアップ研修会では、会員企業による製品品質管理事例などの講演を行います(日程・講演内容は未定)。

抗ウイルス紙(すき込み品)の登録開始

2026年4月1日より



2026年4月1日から、抗ウイルス紙(すき込み品)の製品登録を開始しました。

紙すき込み品で、容易に試験ウイルス液を吸収する製品を対象とし、ニスやインクなどの印刷により、表面に抗ウイルス性を付与した紙には適用しません。試験方法は、SIAAが新たに定めたS16 (SIAA法) で、ISO番号なしの抗ウイルスSIAAマークを表示できます。登録基準等は規定K07をご覧ください。

皆様からの登録申請をお待ちしています。

Information board

SIAA事務局からのお知らせ、SIAAマーク普及促進のための情報などを発信していきます。

既刊の会報誌は随時ご閲覧いただけます

ダウンロード版/eBook版



第1号
特集：利用広がる抗菌・
抗ウイルスフローリング



第2号
特集：抗菌印刷の現在地



第3号
特集：介護の視点で考える
抗菌・抗ウイルスそして防カビ



記念号
特集：SIAA設立25周年



第4号
特集「防カビ」を正しく知る



第5号
特集：抗菌と最新知見



第6号
特集：SIAA会員が一堂に
集う場



第7号
特集：品質をめぐる取り組み



第8号
特集：見えない菌に
見える安心

SIAA発行パンフ

会報誌の他、各種パンフレットは当会ホームページ内「SIAAとは」からご覧いただけます



SIAAのご紹介



抗菌って、何?



抗ウイルスって、何?



防カビリーフレット



抗バイオフィルムと
SIAAマーク

衛生ヒーローが活躍する公式SNS 好評配信中!

SIAAのイメージキャラクター「衛生ヒーロー」が、X、Instagram、YouTubeを舞台に大活躍。身の回りの衛生問題やSIAAマークの役割などを毎回楽しく解説。いますぐチャンネル登録を!

X (旧 Twitter)



Instagram



YouTube



ご意見やご要望をお寄せください

会報誌「暮らしの中のSIAA」では、今後の誌面作りの参考にさせていただくため、皆様のご意見を募集しています。スマホの場合は右のQRコードから、PCの場合はホームページ内「会報誌へのご意見」から入力フォームにそれぞれアクセスできます。ご協力お願い申し上げます。

■ ホームページ 会報誌へのご意見 https://www.kohkin.net/siaa/members_page.html

■ 会報誌に関するお問い合わせ：SIAA事務局 info@kohkin.net



SIAA
ISO 22196
抗菌加工

当誌は抗菌加工されています
(表紙・裏表紙)